

教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

和歌山市立砂山小学校
教諭 木村 光

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み、教員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012, 小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

これらの研修をとおして、これまでの自分自身の教育活動について振り返りながら、多くの指導方法や技術を学び直すことができ、自己の専門性を高めることができた。また、所属校におけるミドルリーダーとしての自身の役割について考えるとともに、学校全体の取組として、現状の課題について教職員の共通理解を図ったうえで、新しいことに挑戦することが大切であることを学んだ。

研究では、様々な文献や先行研究を読み進めるとともに、外部講師や指導主事からの助言により、これまでの体育科の授業づくりにおける課題について深く考えることができた。授業改善においては、研修員研修や専門性の向上を目指す研修講座を受講したことで、幅広い知識が得られ、多様な見方や考え方をもちて授業実践を行うことができた。また、授業実践を整理し、まとめることや発表することを通じて、自分の考えが深まり、教員としての資質能力を高められたと感じている。

今年度において身に付けた学びや経験を、ミドルリーダーとして学校現場に還元し、子供たちの成長につながるように、更に学び続けていきたいと考えている。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間をとおして行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等の作成、模擬の授業実施	・授業・研修研究計画を立て、第2回報告会で発表 ・授業研究の実施	・授業研究で収集したデータ分析 ・教育センター学びの丘研究報告会で発表	・研究報告書、資料の作成

所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」	
修	■「授業力」「組織開発力」「研修力(学び続ける力)」向上トレーニング
養	■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講 ■初任者研修, 10年経験者研修等聴講 ■学びの丘指導主事等による研修員研修

図 研修の概要